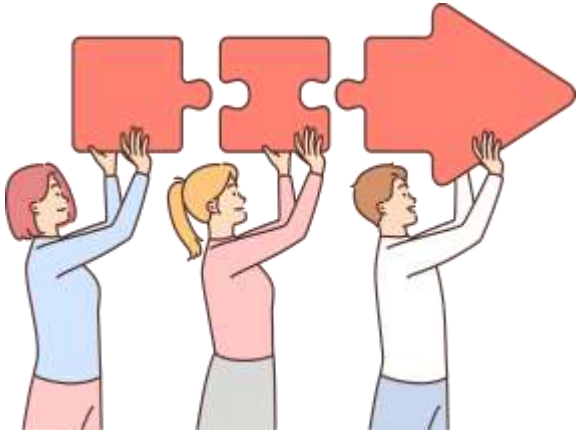


市民の想いと得意を地域の力に

社会人ボランティアの力を
習志野の地域活動団体につなぐ

「ならしのプロボノチャレンジ2024」活動報告

20名の社会人ボランティアの協力を得て、
6つのプロボノチームで、市内の市民活動
団体の運営課題の解決に取り組みました

令和6年度習志野市市民協働型委託事業（協働政策課）

事務局：認定NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

目次

P1～P2　はじめに

P3～P10　事業概要と参加状況

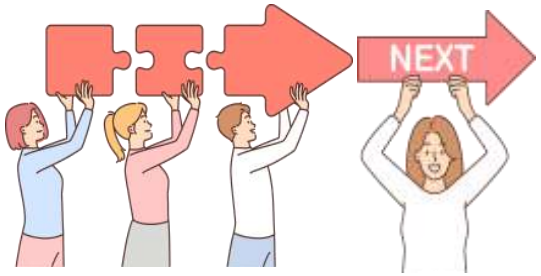
P11～P28　プロジェクト完了後の参加者アンケート集計結果

P29　お問い合わせ先

1

「ならしのプロボノチャレンジ2024」事業概要と参加状況

「ならしのプロボノチャレンジ2024」とは



「市民の想いと得意を地域の力に」

仕事や生活で得た経験やスキルを活かすボランティア「プロボノ」。習志野市で活動する団体の運営基盤の困りごと解決に、社会人ボランティアの多様なスキルや経験をつなぎ、団体のステップアップをめざす取り組みです。テーマでつながる新しい地域との関わり方を応援します。

「習志野市をもっと楽しく暮らしやすく」に、「市民活動団体の力✖市民の想いと得意」で貢献します。

チームを組み期間限定で行う プロジェクト型のプロボノとは

初めてのプロボノでも参加しやすい「ならしのプロボノチャレンジ2024」

「運営上の困りごとを解決したい地域活動団体」と「3～5名の社会人ボランティア」をそれぞれ募集したうえで、事務局がつなぎ、ひとつのチームとして、課題解決にあたるプロジェクト型のプロボノです。支援内容と期間を絞って、短期集中で行います。

～プロジェクト型プロボノは～

チームで支援！
得意分野のスキルや経験を活かした支援

約3カ月間！
短期集中で取り組み、一定の成果物を作成します

サポートします！
団体もプロボノ参加者も、事務局がサポートし伴走します

団体にとっては、外部の様々な視点やスキルの提供を受けられ、ステップアップの契機に！

社会人ボランティアにとっては、経験が活かせる充実感やチーム作業でのおもしろさ、地域の課題や人たちとの接点を感じられるボランティア！

期間限定なので忙しい社会人や団体も参加しやすく、ゴールが明確で取り組みやすい！

事務局が間に入るのでプロボノが初めてでも、相談できて、参加しやすい！

「ならしのプロボノチャレンジ2024」では、3者がそれぞれチカラを発揮して成立します

地域で活動を行う
NPO・任意団体
など

ヒアリングを受けるなかで
約3ヶ月で取り組み可能な
支援内容を設定します

プロボノワーカー
（社会人ボランティア）

３～5人のチームを事務局が
編成し、チームで支援します

事務局
（NPOクラブ）

外部の力を借りて
活動を発展させたい
団体を募集

・支援内容の絞り込み
・両者のマッチング
・プロジェクトの運営支援

経験や知識を生かして
社会貢献したい人を
募集

団体の基盤強化をチームで支援する
「プロジェクト型支援」

事業実施の流れについて

団体募集説明会　＜第1回＞7/11(木)14:00～15:30　プラッツ習志野 会議室1,2
＜第2回＞7/21(日)14:00～15:30　習志野市役所 5階会議室5-2
団体募集期間　7/1(月)～7/31(水)

支援希望団体の参加の流れ

社会人ボランティアの参加の流れ

支援団体募集 → 団体のヒアリング対応 → マッチング → オリエンテーション → プロボノチームごとの活動 → 成果物納品 → 活動報告会

プロボノワーカー×団体と随時ミーティング
（要請に応じて随時、事務局も対応）

社会人ボランティア募集 → マッチング

2024.7月　8月　9月　9月中旬　2025.1月末　2月

チームごとのプロボノ活動は約3～５か月間

事務局も伴走支援

活動報告会
（一般公開）
2025.2/11(火・祝)
9:30～11:30
プラッツ習志野
集会室3

社会人ボランティア募集説明会
＜第1回＞8/10(土)10:00～11:30　プラッツ習志野　集会室1
＜第2回＞8/23(金)19:30～21:00　オンライン開催（Zoom使用）
社会人ボランティア募集期間　8/1(木)～8/30(金)

オリエンテーション（プロボノ参加の社会人ボランティア対象）
9/8（日）10:00～12:00　プラッツ習志野　会議室1,2

説明会およびプロボノの参加団体数、社会人ボランティア参加人数

- 参加団体数　計 7団体（計4回　対面　7/11，7/18　　個別対応　2団体）
  うち6団体がプロボノ参加

- 社会人数　　計43名（計3回　対面 8/10, オンライン 8/23、8/31）
  うち20名がプロボノ参加⇒６チームに分かれて活動

「ならしのプロボノチャレンジ2024」参加団体と活動内容

	団体名	活動概要	支援希望	プロボノ活動内容
1	earth FUNTRY!（アースファントリー！）	「こどもたちと一緒に楽しく環境問題・SDGsを考えよう！」のコンセプトの元、オリジナルの歌やダンス、芝居を子どもたちと制作、披露するほか、環境問題等に関するクイズを活用したワークショップやイベント、講演会などを小学校や地域で行い、環境問題への啓発を実施	企業にアピールできるまでのロードマップ作成のためのワークショップの実施と提案	「環境芸術活動に係るアンケート調査」への協力依頼メールの配信、団体に合う助成金情報の整理、提供を行った。団体メンバーが運営について話す場を設定しつつ、ロードマップを見える化した
2	NPO法人 ならしの子ども劇場	「人間性を育む自主的、創造的、文化的な体験活動を行い、子どもにとっての豊かな地域社会づくりをめざします」というミッション実現のために、良質な生の舞台の鑑賞企画、子どもが自由な発想で自発的に遊べる場づくり、子育ての楽しさや地域で育て合う安心感を感じられる場づくりを行っている	業務効率化のためのデータ管理のクラウド化等の実施と団体メンバーへの活用講習の開催	GoogleWorkspaceの導入時の設定作業後に多くの団体メンバーを交えて操作教育、習熟支援を行い、あわせて管理者講習を行った。共同作業で行う団体の広報誌の編集作業効率化の提案とホームページの試作も行った
3	NPO法人 傾聴グループ ぬくもりほっとらいん	悩み苦しんでいる人、孤独の中にいる人々に対して安心して話せる機会を提供するとともに、学習会など傾聴の学びの輪を広げることにより、あたたかい人間関係づくりの一助となること、これらによって“やさしい地域社会づくり”に貢献することを目的として活動している	「20周年式典」で投影する映像の作成支援（目的にあわせた内容整理の支援や編集方法などの提案を含む）	20周年式典用の団体メンバーの動画撮影、ナレーション録音、動画編集等を経て動画映像を作成。Canvaでの動画編集方法のレクチャー、団体広報への提案、伝わるプレゼン方法に関する情報提供などをあわせて行った

「ならしのプロボノチャレンジ2024」参加団体と活動内容

	団体名	活動概要	支援希望	プロボノ活動内容
4	ならしのまち歩き コンシェルジュ	習志野市の歴史、遺跡、風土、生活、人々などを紹介するまち歩きを、ボランティアで企画運営し、習志野市のPRと観光事業に寄与するとともに、地域の活性化と地域愛を育むことにも貢献する活動。まち歩きの運営にあたる「コンシェルジュ」の養成も担っている	新たな「まち歩きイベント」 の展開に関してのアイデアや運営方法の検討と提案	団体メンバーへのアンケート実施、まち歩きを体験後、全国のまち歩き例を調査・考察し、企画面、運営面から新たな「まち歩きイベント」 の展開に関して提案や情報提供を行った
5	津田沼北部 連合町会	ＪＲ津田沼駅に接する習志野市の「表玄関」に当たる地区で、市の支援を受け、三世代交流輪なげ大会　ふれあい音楽祭　市民まつり　防災訓練などの運営を担い、活発に活動している。社会福祉協議会との連携で、毎月「さくらサロン」と称した事業を展開するなど、地域住民のQOL向上に寄与している	ホームページ作成に向けた活動の担い手掘り起こしと育成支援	町会の会員へのアンケートを実施、連合町会のロゴ作成、Jimdoでのホームページ作成とInstagram連携の内容整理と構築、レクチャー、サポートを行い、団体の力で作成、運営できるようホームページ公開まで導いた
6	習志野市 e-sports協会	認知症予防をはじめとする健康面とコミュニケーションツールとして活用する事により得られる精神面の両面にアプローチできる新たなツールとして、e-sportsを高齢者や世代間の交流に活用した活動を行っている。町会や社会福祉協議会、聴覚障害者協会、認知症カフェ、e-sportsでの世代間交流大会等のイベントを実施することで、地域の活性化にもつなげる。	活動の認知を高めつつ、地域の活性化にもつながるような次年度以降のイベント実施の企画提案書の作成	実際のイベントを見学後、イベント企画案を提案・調整し、団体が次年度実現可能な計画として具体化。組織体制づくり等、団体の課題に対応する内容で助言、提案を行った

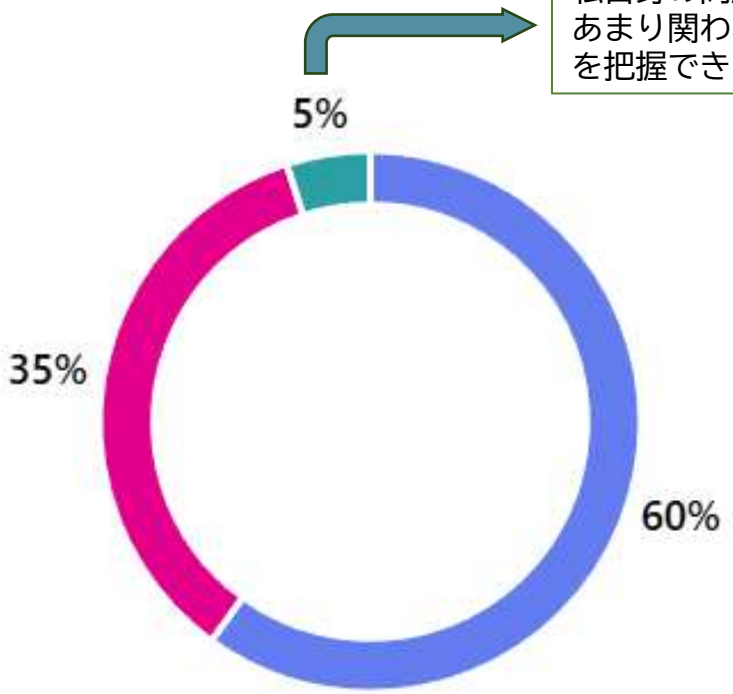
2 プロジェクト完了後の参加者アンケート集計結果

団体にとってプロボノは　どうだった？ープロボノ参加団体の声

回答者　6団体20名

【事業全体について】「ならしのプロボノチャレンジ2024」に参加されて、全体としてどのように感じましたか？

参加してとても良かった	12
参加して良かった	7
どちらともいえない	1
参加したが良くなかった	0



私自身の問題で、今この組織にあまり関われていないから効果を把握できていません

【事業全体について】前問のように感じられたのは、どのような理由からですか。

＜＞は得たと思われるもの

＜スキル、知識＞

- 新たなスキルが身についた　　新たな知識が身についた
- 自分たちだけでは進められなかった（こと）がプロボノワーカーの方が入ってくださったことで一気に進んだと感じるから

＜第三者性＞

- 第三者が入ったことによって話し合う機会が持てた
- 業務の内容を言語化し整理でき、効率よく活動する道筋が見えてきた
- 様々な角度からご意見をいただけたから、メンバー内でやりたいことの軸を話し合うことができたから

＜寄り添い＞

- プロボノワーカーさんが私たち団体のことを知ろうとしてくださり、私たちが活動しやすい方法を分かりやすく教えてくださったから。
- （プロボノワーカーの）皆さんの姿勢から、私たちも思わぬ力を発揮できたのではと思っています
- ワーカーさんたちと楽しく充実した時間を持てたこと

＜活動参加へのきっかけ＞

- 全員での取り組みが深まったと感じた
- 地域の活動が把握できた　　など

【事業全体について】プロボノ活動中、難しさを感じたことがあれば ご記載ください

＜＞は、ハードルになったと思われること

- 特にありません　　5名

＜新しいスキル、知識＞

- パソコンのスキルも必要だったが、それほど得意でなかったので
- 特にこちら側の問題としてメンバーのITスキル不足やネット環境の不十分さ、資金不足から、ご迷惑をかけたり不便を感じたり断念したりしました。
- 専門用語が多く苦労したこと

＜支援希望のすりあわせ＞

- ワーカーさんのイメージと団体のイメージを一致させることの難しさ
- 「プロボノ事業」としてどの部分を手伝っていただいたらよいかを決めること
- 何をしてもらえるのか？という確認が分かり辛い感覚がありましたら

＜日程や時間の確保、調整＞

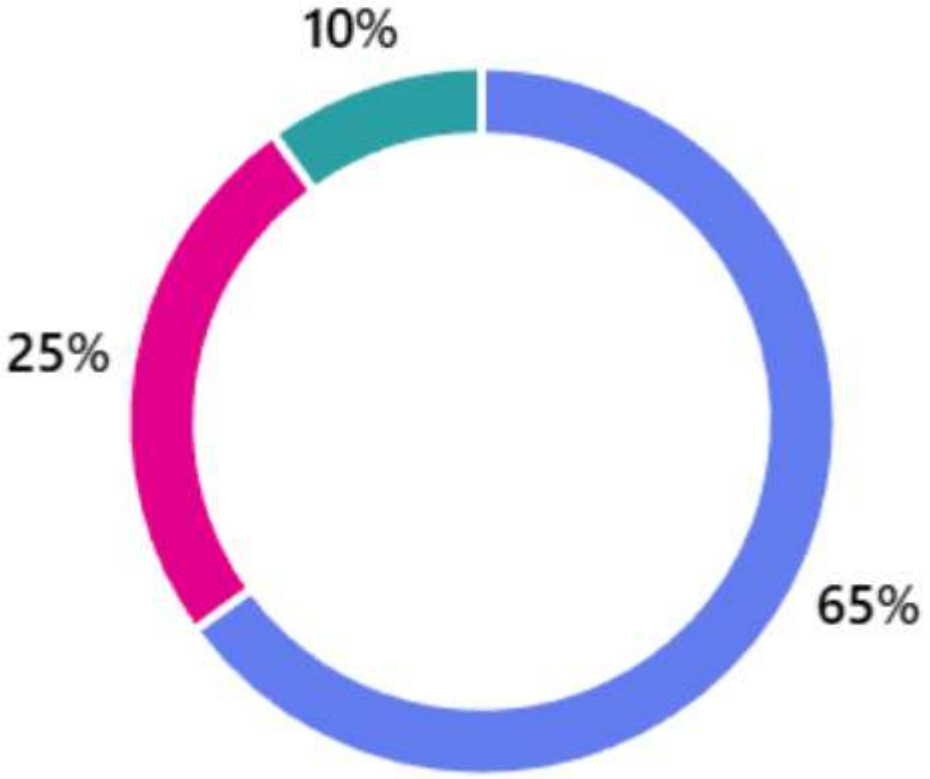
- 関わる人数が多くなることで、それぞれの都合を合わせて打ち合わせることが難しいと感じました

＜その他＞

- 支援期間の短さ
- 組織内会員の賛同を求めることの難しさを知りました　　など

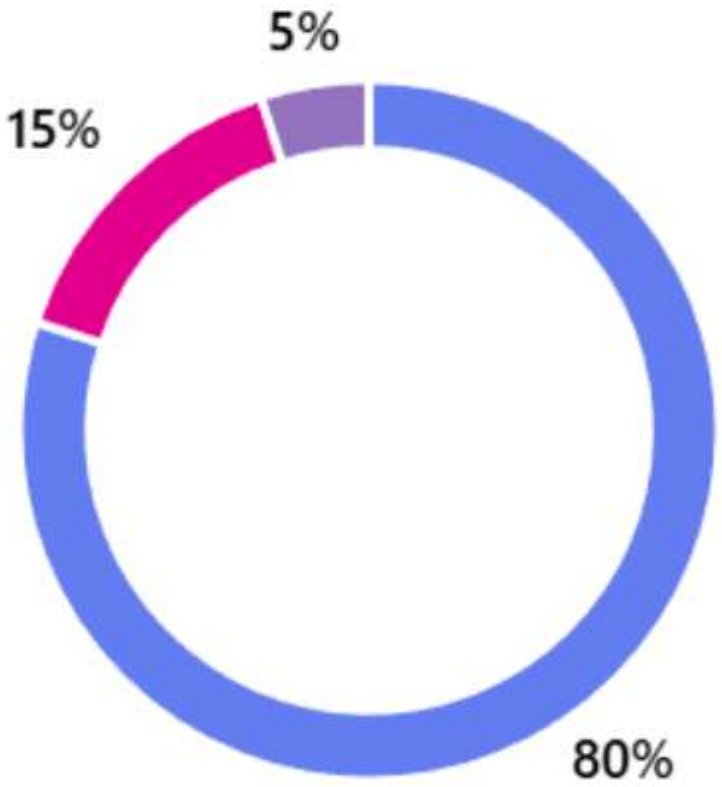
【成果物の評価について】成果物についてどのように感じていますか？

とても満足	13
満足	5
活用するには検討の余地あり	2
今後の活用は難しい	0



【プロジェクトの進行について】約3カ月(~5カ月)という支援期間は、どのように感じましたか？

ちょうどよかった	16
もっと長いほうがよかった	3
もっと短いほうがよかった	0
その他	1



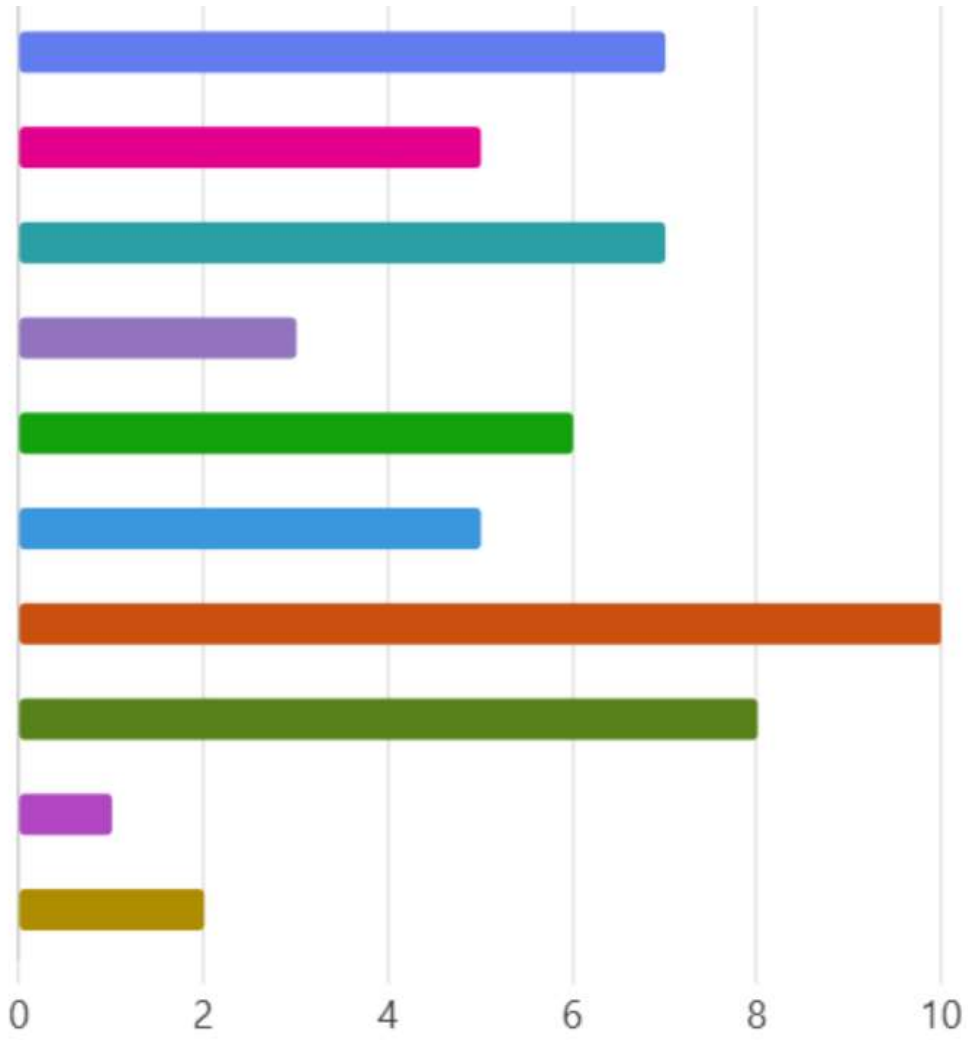
【プロジェクトの進行について】プロボノを進めるにあたって、実際に支援を受ける前に想定していたことと、違っていると感じたことがあれば、ご記載ください。

- 特にありません　　４名
- 支援を受ける前には自分たちの考える製作物をお伝えして、それが形になればいいというくらいに考えていました。実際には考えていたよりも丁寧な聞き取りと、私たちでは考えることができなかった完成度の高いものの提供をしてくださりいい意味で期待を大きく上回りました。
- こんなに丁寧に真摯にかかわってくださると思っていませんでした。本当にありがとうございました。
- ワーカーの皆さんがとても積極的に課題解決に取り組んでくださって、正直驚きました。あまりにもスムーズに作業が進行したため、「まだ何かできることはないでしょうか」と聞いてくださったのも驚きでした。

など、「想定以上だった」という感想が５名

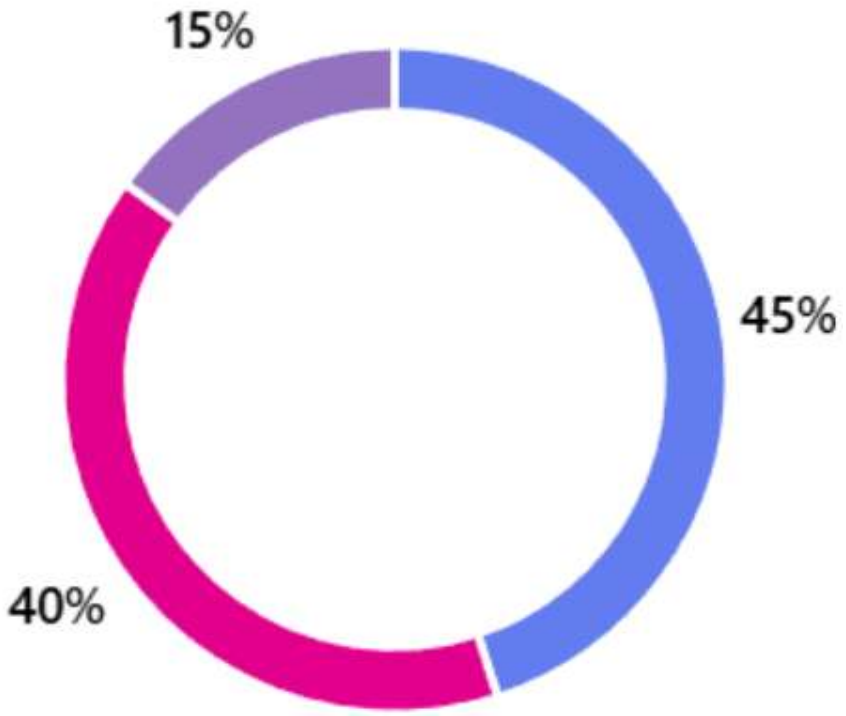
【プロジェクトの影響・効果について】 今回の支援を受けたことにより、団体内部で下記のような変化はありましたか？（複数回答可）

団体の理念や活動目的が明確になった	7
運営上の課題や活動の方向性が明確になった	5
内部関係者(団体メンバー)間で団体運営に関して意識共有ができた	7
団体の活動意義について新たな発見があった	3
代表者やメンバーのモチベーションが向上した	6
ボランティア受け入れの必要性や受け入れ体制について認識が変わった	5
外部からの見え方や情報発信について新たな気づきや展開があった	10
業務が効率化し、ストレスが減った	8
特に変化はなかった	1
その他	2



【今後について、その他】今後、機会があれば、プロボノによる支援をまた受けてみたいと感じますか？

また受けてみたい	9
どちらとも言えない	8
受けたいとは思わない	0
その他	3

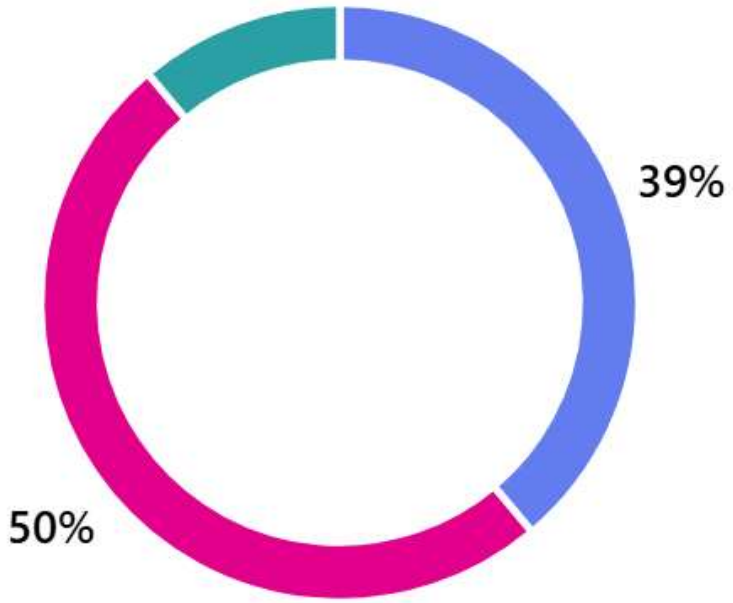


社会人ボランティアにとってプロボノはどうだった？
ープロボノワーカーの声

回答者　18名
（6チームに所属）

「ならしのプロボノチャレンジ2024」に参加されて、全体としてどのように感じましたか？

参加してとても良かった	7
参加して良かった	9
どちらともいえない	2
参加したが良くなかった	0



・メンバー間のコミュニケーションが少なかったように感じられたため
・団体と上手くコミュケーションが取れなかった

前問のように感じられたのは、どのような理由からですか。

- 新たな経験ができたから
- ほんの一部ではありますが、得意なスキルを活かすことができ、やりがいがあった。また、自分にとって新しい取り組みもあり、新しいスキルを得ることができた。
- 参加をして良い経験となったため。
- このような形のボランティアに参加したのは初めてでしたので、貴重な体験になりました
- （プロボノメンバーや団体さんからはもちろん事務局からも）学ぶことも大変多くて勉強になりました

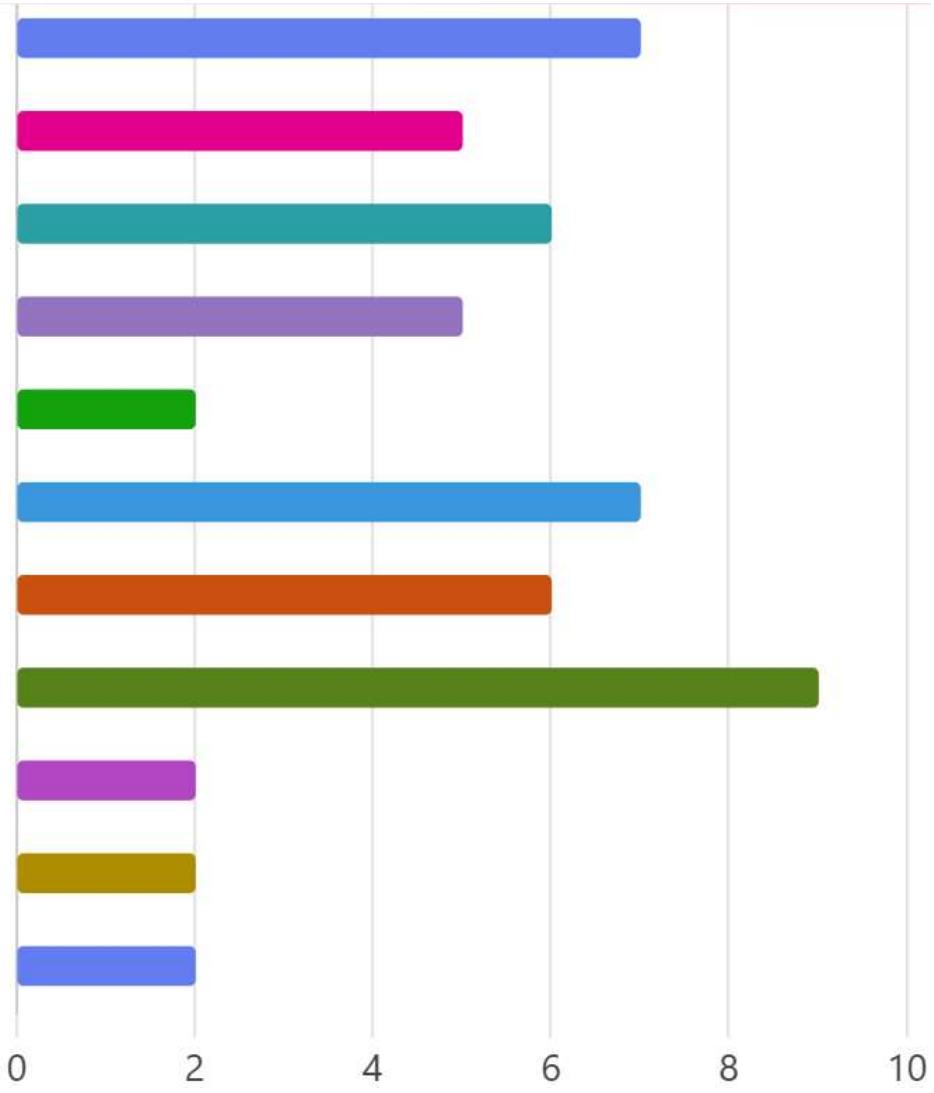
- 自らが保有するスキル・知見等が社外でどの程度役立つか参考になったため。
- 自分のスキルを活かした支援ができ、団体からも感謝されたと思うため

- 知らなかったコミュニティ活動について知ることが出来た
- 誰かのために活動する素敵な人達に出会えたこと、そういう人達の思いを聞けて感じることができたので。
- 普段関わりがない団体と協働でき、社会勉強になりました。思ったり活動がスムーズに行かず、反省点があります。
- 支援団体の活動を知れたこと
- プロボノがどういうものか知ることができた。また，地域の活動を知ることができた。
- 普段関わることのない方たちと触れ合うことができたから

- メンバー間のコミュニケーションが少なかったように感じられたため

プロボノ活動中、難しさを感じたのはどんなことでしたか？（複数回答可）

活動時間のやりくり	7
団体の状況把握	5
プロジェクトでの作業の進め方	6
成果物の具体的な内容設定	5
資料や成果物のまとめ方	2
団体とのコミュニケーション	7
メンバーとのコミュニケーション	6
メンバーの役割分担	9
進捗管理	2
特に大変だと感じるところはなかった	2
その他	2



前問の難しさを改善するための工夫や提案などがあればお願いいたします。

＜コミュニケーションの工夫＞

- 参加可否は別として、定期的にメンバー内でのミーティング設定をするとよかったと思いました
- 団体の中でのコミュニケーションについてどこまで介入するか悩んだ
- メンバー感のやりとりをチャットだけに留めず、定例MTGの場を設けるなどすれば改善されるかもしれません
- 時間の制約とOnline中心で事務的なｍｔとなってしまった→リアルで団体メンバー（代表以外も･･）とも意見交換をしておく
- やりとりの頻度をあげると改善につながるかもしれません

＜事業設計の工夫＞

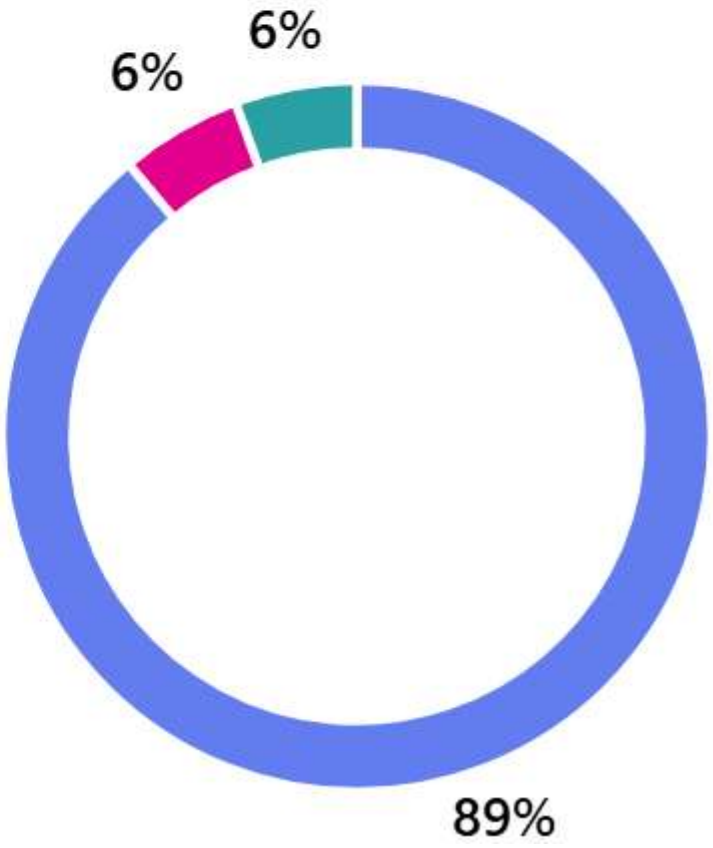
- 標準的な連絡方法や使用ツールを設定して、マニュアルを整備しても良いと思いました
- 団体の活動内容に共感し、社会的意義がある事を感じられると思えるような、施策があると良いですね
- 事務局さんが間に入って交通整理をしてくれたのが良かった

- 会社組織ではなく、メンバーの環境が異なるため、ある程度割り切りも必要かと感じられる（メンバー間のカバーが必要と思われる。）

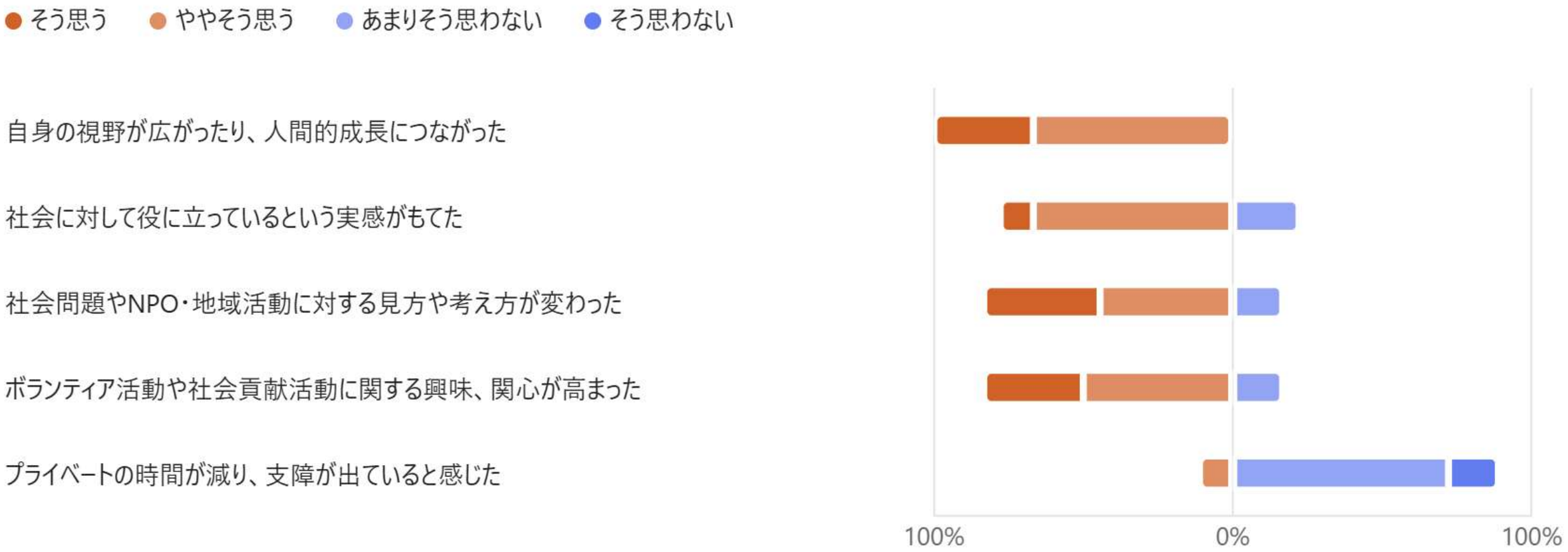
など

約3カ月(~5カ月)という支援期間は、どのように感じましたか？

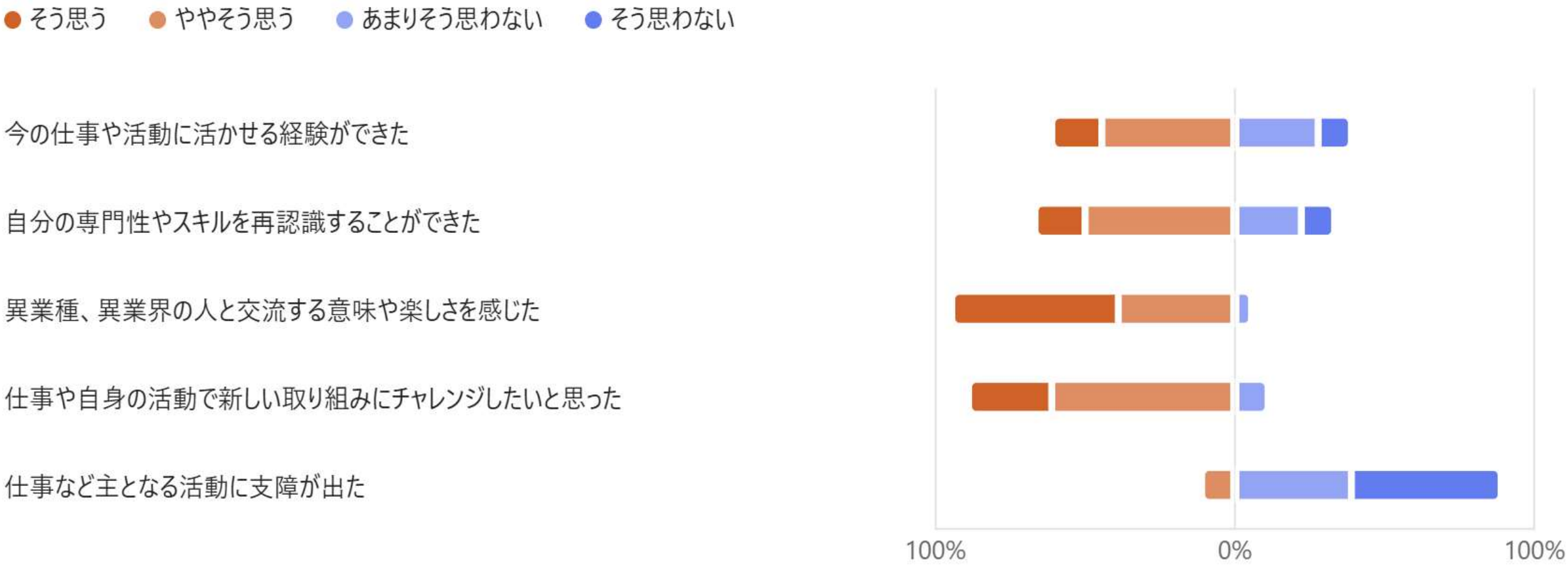
ちょうどよかった	16
もっと長いほうがよかった	1
もっと短いほうがよかった	1
その他	0



「ならしのプロボノチャレンジ2024」へのご参加で、ご自身の考え方や生活に変化や影響がありましたか？



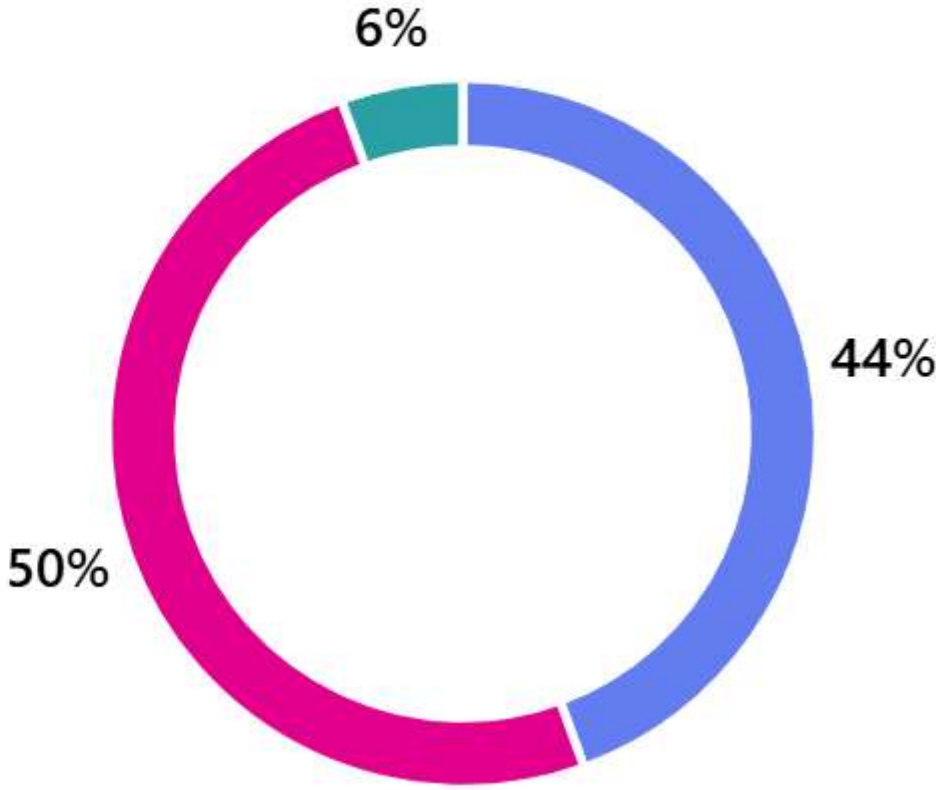
プロボノへのご参加で、ご自身のお仕事や主となる活動に、
どのような変化や影響がありましたか？該当する箇所を選択してください。



今後も機会があれば、プロボノワーカーとして活動してみたいと思いますか？

時間のやりくりが難しく，…現在はプロボノ活動には適していないと思いました。ただ，活動自体は楽しく，やりがいも感じたので，状況が落ち着いたらまたやりたいと思います。

活動してみたい	8
やや活動してみたい	9
あまり活動したくない	1
活動したくない	0



前問に関して、「活動してみたい」または「活動したくない」と感じられた理由をご記入ください

- 今回の活動だけでは限定的なため、更に別の団体や課題解決に取り組んでみたいため
- 今回の経験を糧にさらなる社会経験を積みたいと感じたため
- 元々活動をしているため
- 仕事でのスキルを社会に還元していきたいため
- 団体の活動の突破口になれば・・・

- やってみて一番は時間のやりくりが難しく，自分の仕事や家庭の状況が現在はプロボノ活動には適していないと思いました。ただ，活動自体は楽しく，やりがいも感じたので、状況が落ち着いたらまたやりたいと思います

- 感心させられたり学ぶことが多かった経験であったことと、今回は活動への自分の貢献度に疑問が残ったためです

など

事業やこの報告に関するお問い合わせは…

「ならしのプロボノチャレンジ2024」事務局、企画・運営

認定NPO法人　ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
（通称　NPOクラブ）

〒261-0011　千葉市美浜区真砂5丁目21-12
TEL　043-303-1688（平日9:00～18:00）
Email　chiba@npoclub.com
ホームページ：http://www.npoclub.com

担当：鍋嶋、赤木